

# まだまだ足りない地元産小麦・大豆

# まだまだ足りない国産の小麦・大豆

## 16 食料・農業・農村基本計画

大豆をめぐる情勢 R4.12 農林水産省

- 令和2年3月に閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」において、大豆の生産努力目標を34万トンに設定。
- 実需者の求める量・品質・価格に着実に応えるため食品産業との連携強化を図りつつ、団地化やスマート農業によるコストの低減、排水対策の更なる強化、耐病性・加工適性等に優れた新品種の開発・導入等を通じて、生産量の向上を推進する。

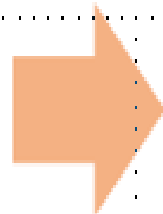
H30(現状)

生産量 21万t

作付面積 15万ha

平年収量 167kg/10a

自給率 6%



R12(目標)

生産努力目標 34万t

作付面積 17万ha

平年収量 200kg/10a

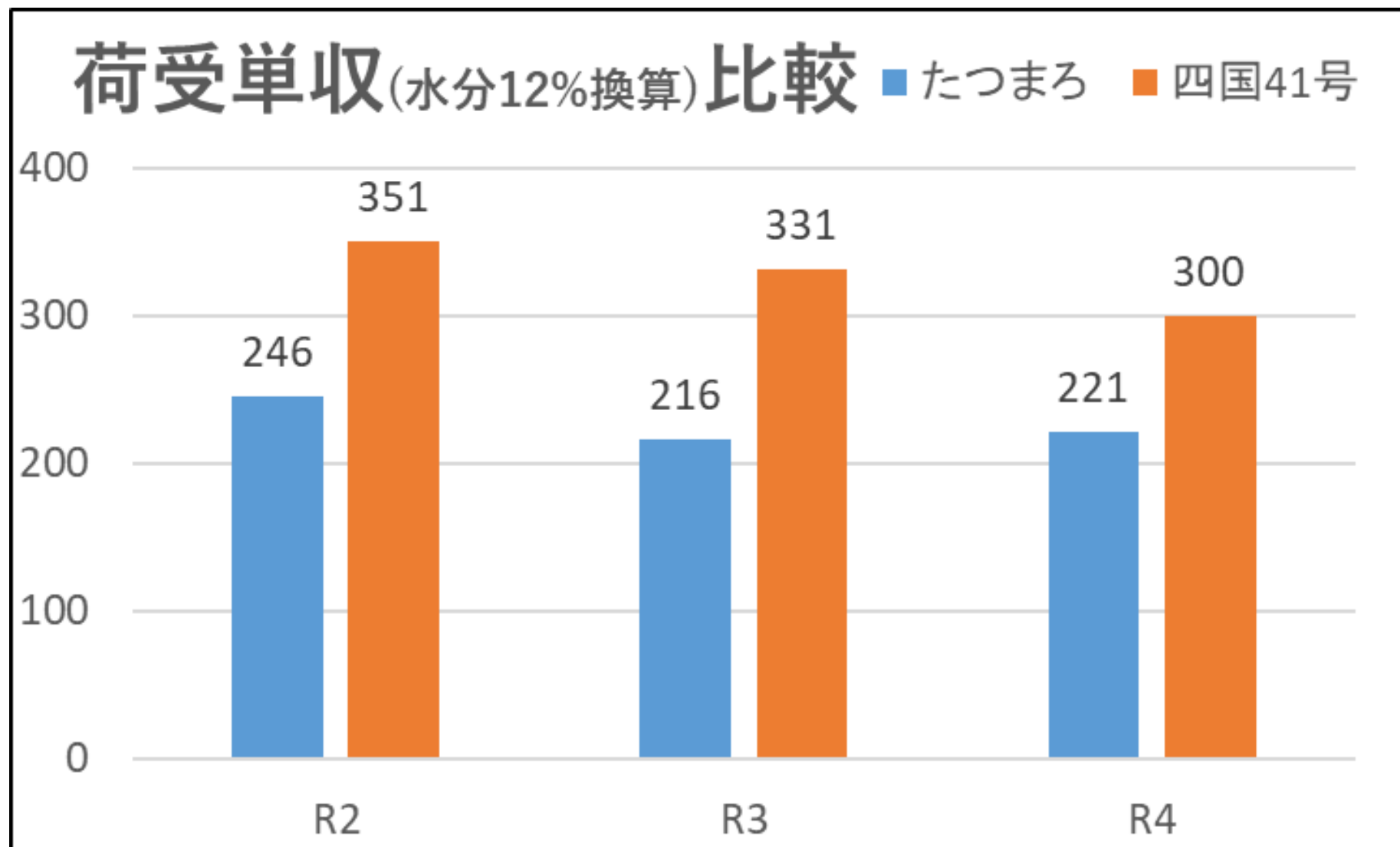
自給率 10%

# 発表内容

- 1) 醸造用原料の安定調達のための地産化
  - ・生産者とのかわり、関連機関との連携
- 2) 大豆の多収化に向けて
  - ・醸造用新品種大豆 たつひめ
  - ・亜熱帯化干ばつ対策の栽培技術例
- 3) 発酵諸味粕堆肥による資源循環型農業
  - ・2年3作＋土づくり(ASK)
  - ・ASK(発酵諸味粕堆肥)の高度利用
- 4) まとめに入ります



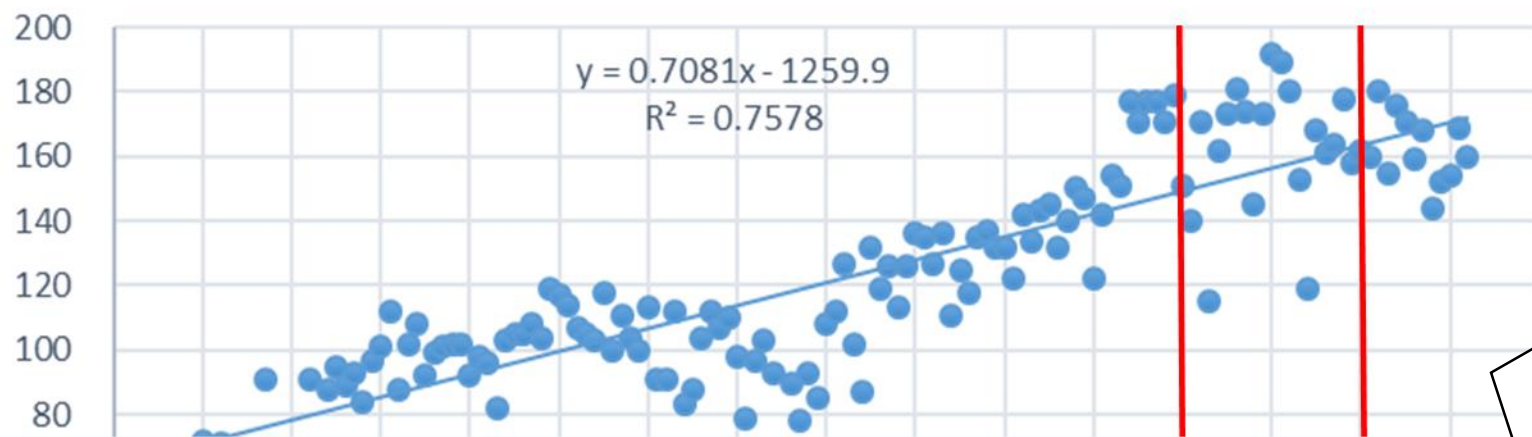
# 大豆新品種 たつひめ(四国41号)



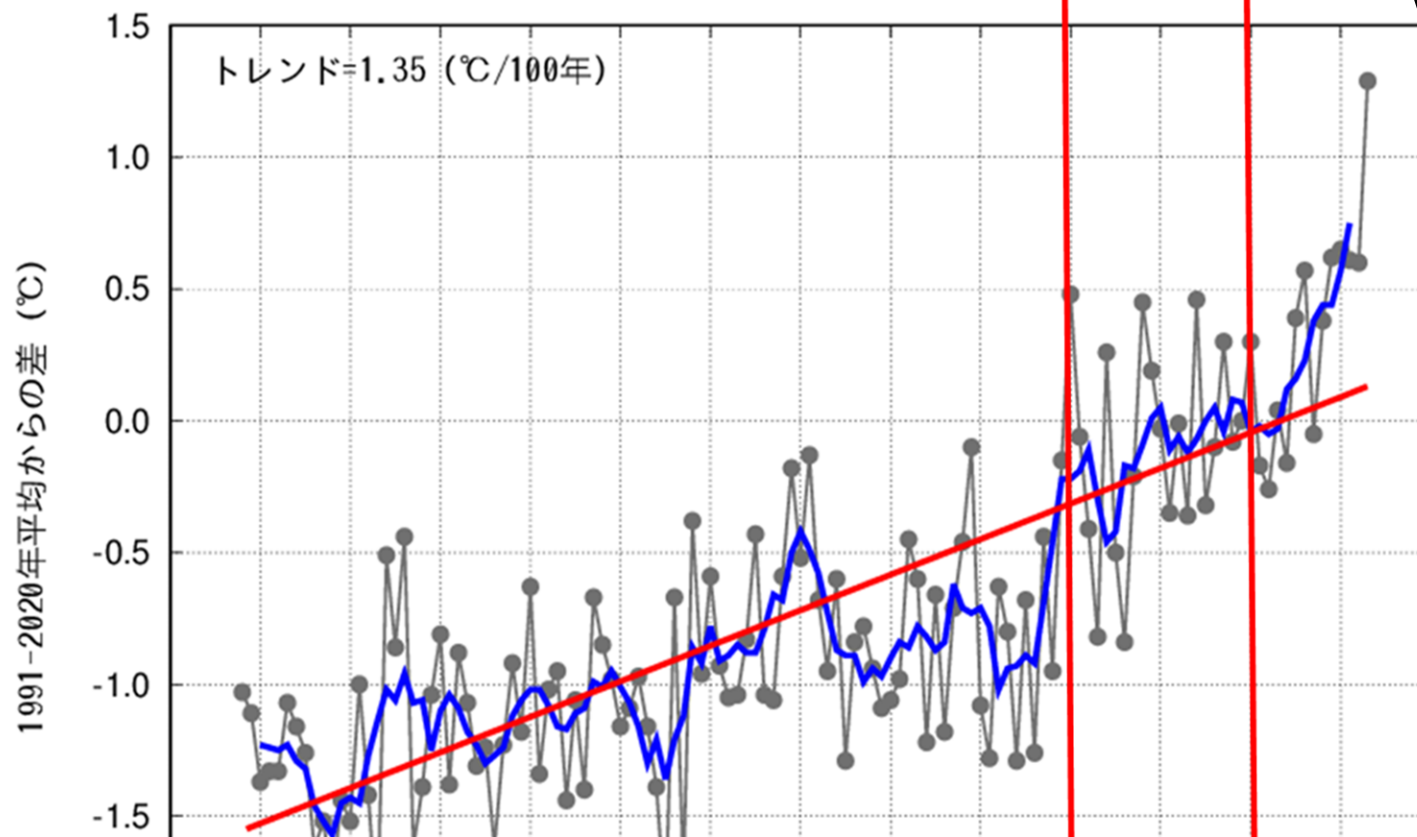
## たつひめの特性

- 粒径：中小粒
  - ・多収品種 (海外産大豆)
  - ・醸造設備適性良
- 栽培適性
  - ・耐倒伏性 狭条密植適性高
  - ・難裂莢
  - ・**+ 立枯れ病耐性**
- 品質
  - ・高たんぱく
  - ・糖バランス良
  - ・醸造品質適性良

## 大豆単収kg/10a明治～現在



日本の年平均気温偏差



○環境リスク発生  
温暖化＝亜熱帯化  
＝播種期の干ばつ

・～1990  
順調な単収増

・～2010  
停滞、減収

・～現在  
**単収微減傾向!!**  
**大豆離れの危機!!**



# 播種：小粒を多く播いて多収化

H29農林水産省委託プロジェクト  
たつの現地実証試験

大豆播種  
粒大・密度  
多収化の検討

慣行：  
中粒7kg/10a(25粒/m<sup>2</sup>)  
収量：212kg

試験  
小粒7kg/10a (35粒/m<sup>2</sup>)  
収量：256kg

試験：  
小粒8kg超/10a (40粒/m<sup>2</sup>)  
収量：231kg